

第55回

葛高祭

いつ楽しむか?今でしょ!!
~思わず笑ってしまうような瞬間を~

第55回葛高祭が9月27日と28日の2日間にわたり開催されました。会場では各クラスの展示や模擬店、部活動や委員会、授業の成果発表など工夫を凝らした企画を展開していました。28日には一般公開も行われ、保護者や卒業生、地域住民など多くの来校者で賑わいました。



地元企業へ積極的に質問をする生徒ら

町内企業ガイダンス
地域の仕事を知る機会に

10月9日、ふれあい宿舎グリーンテージで、葛巻高校町内企業ガイダンス(くずまき雇用サポートセンター主催)が開催され、同校1年生43人と町内企業18事業者が参加しました。各企業から仕事の内容や理念、特色などが紹介されると、生徒らはうなずきながら説明を聞いていました。その後、興味のある企業から詳しい説明を受けることができ、時間が設けられると、生徒らは各企業の担当

者に仕事のやりがいや苦勞などを積極的に質問し、地元企業への理解を深めました。久慈市出身の沼袋亮介さんは「ほとんど知らない企業だったが、どの企業も仕事に誇りを持っていると感じた」、町内出身の加納輝季さんは「将来の参考になる話をたくさん聞くことができた」と町内企業を知るとともに将来の職業選択について考える有意義な機会となった様子でした。

くずまき町民まつり
葛高生が物販などで大活躍

全国各地の名産品を販売
葛高おでつてマーケット

2年A組の生徒が10月12日、13日に開催された町民まつりに出店し、全国各地の名産品を販売しました。この取り組みは商業科目の一環で行われた販売実習で、商品の選定や仕入れ、販売価格の設定など生徒自らが行いました。まつり当日ははつぴ姿で商品の紹介や会計など熱心に接客を行っていました。



緊張を見せながらも笑顔で接客する生徒



子どもたちと触れ合う生徒とミルンちゃん

町民まつりには町のアイドル・ミルンちゃんも登場。高校生スタッフもミルン

2日間の販売を終えて店長を務めた上川原匠哉さんは「笑顔で接客することと商品がいかにか魅力的かPRすること」と工夫した点を話し、接客はほぼ初めてだったという志田梨佐子さんは「緊張もあったが、自分たちが仕入れた商品がよく売れて嬉しかった」と充実感に溢れた表情で話していました。



くずまき鍋の配膳をするなどフェアをサポート

初開催のくずまき鍋フェア
高校生スタッフがサポート

初めて開催されたくずまき鍋&ご当地グルメフェアでは、高校生スタッフがくずまき鍋を来場者の元まで運んだり、接客をしたりと大忙し。出店者や来場者とコミュニケーションを取りながら、初開催のフェアを支えました。

葛高祭の盛り上がり!!



上川原匠哉(2年)

こんにちは。今回のレポートは一般公開では見ることができなかった葛高祭の中夜祭について紹介したいと思います。

中夜祭では、2年生からは歌が4組と、3年生からはダンスと歌が1組ずつ出演しました。どの組も今までの練習の成果が出ていて素晴らしい発表でした。ちなみに僕はチャイナ服を着て一郎くんや他の友達と一緒に歌を歌いました。僕の中では一番の盛り上がりだったと思います。



丹内一郎(2年)

去年からあつという間に1年がたちましたね。今年も各クラス、いろいろな出し物をしていました。模擬店、縁日、お化け屋敷!どれも楽しかったです!私と匠哉くんのクラスは、ゲームコーナーをやりました!たくさんの方に来ていただき楽しんでもらいました。今年も葛高祭は大盛況でした。準備は大変でしたが頑張った甲斐がありました。来年はさらにグレードアップしたゲームコーナーをやる予定です!みなさん来年も来てください!



【写真は高校生記者より提供】



一般公開の様子

①音楽選択生による合唱②クラス展示を楽しむ子どもたち③工夫を凝らした各クラスの企画④図書委員会の企画⑤3年生による大盛況の模擬店⑥PTA・教員も出店⑦個性溢れる各クラスの垂れ幕